

Library information 図書館だより

- 中央図書館 (LIC はびきの内) 軽里 1-1-1 ☎072-950-5501
- 陵南の森図書館 島泉 8-8-1 ☎072-952-2750
- 羽曳が丘図書館 羽曳が丘西 2-5-1 ☎072-957-5553
- 丹比図書館 檜山 251-1 ☎072-937-2355
- 東部図書館 古市 1541-1 ☎072-950-2002
- 古市図書館 ☎072-958-0050 休(休)金(出)日 10:00 ~ 17:30
- ブックステーションはびきのコロセラム ☎072-937-7210 休(休)金 13:30 ~ 16:30

●開館時間 10:00 ~ 18:00 (※中央図書館は 10:00 ~ 20:00)

おはなし会 (7月)		今月の特集テーマ	
中央図書館	2日(出) 10日(日) 16日(出) 24日(日) 30日(出)	一般	冷たい本
陵南の森図書館	3日(日) 10日(日) 23日(出)	児童	へんしん!の本
	16日(出)	一般	あなたのPOP!を飾ります
	17日(日) (小さい子向き)	児童	夏のおいしい本
	17日(日) (少し長いお話を聞ける子向き)	星座の本	
東部図書館	13日(休)		夏休みに役立つ本
丹比図書館			
古市図書館	16日(出)		大人も、子どもも、怪談えほん
	27日(休)「ちょっとこわいおはなし会 +古市図書館を水族館にしよう」		
羽曳が丘図書館	9日(出) 23日(出)		こわ~い話

◇七夕まつり

日時 7月2日(出) 14:00 ~
場所 丹治はやプラザ
内容 大型かみしばい
ブラックパネルシアター ほか

臨時休館のお知らせ

ブックステーションはびきのコロセラムは、第26回参議院議員通常選挙の期日前投票所となるため、7月10日(日)まで臨時休館させていただきます。

7月31日(日)市内の図書館は
全て休館です。

◇夏休み!おはなし大会 どうぶつが出てくるおはなし

7月23日(出) 中央図書館
第1回 13:30 ~ (小さい子向き)「ひなどりとねこ」ほか
第2回 14:00 ~ (小学校低・中学年向き)「子ギツネのライオンたいじ」ほか
第3回 14:40 ~ (小学校高学年以上向き)「森の家」ほか
おはなし「羽曳野市子ども文庫連絡会・おはなしの森」の皆さん

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、イベントを中止または延期することがあります。参加される方は、マスクの着用や消毒など、感染症対策にご協力をお願いいたします。

休館日変更のお知らせ

10月1日(出)から、図書館の休館日・開館時間が以下のように変更されます。
中央図書館 毎週(月) 休館(祝日含む)
(出)・(日)・祝日の開館時間 10:00 ~ 18:00
陵南の森・丹比・羽曳が丘・東部図書館 毎週(金) 休館(祝日含む)
ブックステーションはびきのコロセラム (火)・(休)・(出)開館
全図書館とも、毎月最終水曜日(祝日の場合は翌日)は館内整理のため休館します。

子ども1日図書館員

中央図書館	8月2日(火)、3日(水)、4日(木)	9:45 ~ 11:45
陵南の森図書館	8月1日(月)、2日(火)、4日(木)	9:30 ~ 11:30
古市図書館	8月3日(水)、4日(木)、10日(火)	9:45 ~ 11:45
羽曳が丘図書館 丹比図書館 東部図書館	8月6日(出)	13:30 ~ 15:30

対象 小学3年生 ~ 6年生で図書館利用カードをお持ちの方
(広域利用の方も可)

定員 各日2人

申し込み期間(共通) 7月16日(出) ~ 24日(日)

※参加を希望する館に直接お申し込みください。
電話不可・代理申込可

サラバボール

ジェンダーを考えるということ
先日朝日新聞の記事がありました。
「来春から主に高校2、3年生が学ぶ
教科書では、地歴・公民を中心に、
多くの教科でジェンダーに関する話題
が登場する」(朝日新聞 4月4日
(月)朝刊)とありました。

最近聞く「ジェンダーレス」ですが、
そもそも「ジェンダー」とは何か
スマートフォンで検索しました。『生物
学的な性に対して社会的文化的につ
くられた性のことを指し、世の中の
男性と女性の役割の違いによって生
まれる性差のこと』という検索結果
が出てきました。そして、「ジェン
ダーレス」とは『社会的文化的に求め

られる性差を表わすジェンダーの境
界をなくすという考え方のことを示
します。つまり社会で認知されてい
る男性らしさ女性らしさといった区
分を取り払うことが重要なテーマに
なります』とありました。

ジェンダーの定義と用法は年代に
よって変化するとも書いてありました。
これまで私たちは、「男はこうあるべ
き、女はこうあるべき」という思い
込みであったり、「男は強い、女は
優しい」とか、「男は外に出て仕事
をする、女は家事と育児をする」と
いうような昔からの固定観念に長く
とらわれていたのかもしれない。

しかし、時代の変遷とともに、家
事はできるほうがするというスタイル
の定着や、学校では「男女兼用」
や「組み合わせの自由化」といった

ジェンダーレス制服が導入されるな
ど、徐々にジェンダーレス社会の
実現に近づいています。

上智大学の三浦まり教授も、「日
本のジェンダーギャップ(男女格
差)の現状や、背景に関する事柄が
教科書に載る意義は、とても大き
い。これは解決すべき社会問題な
んだ、という共通認識につながる。」
と話されているとの記事(朝日新聞
4月4日(月)朝刊)も掲載され
ていました。

未来を担う子どもたちが男女の
性別にとらわれることなく自分らしく
生活できることがジェンダーレスの
第一歩ではないでしょうか。

はびきのししけんけいはつすいしんきょうぎかい
羽曳野市人権啓発推進協議会